

2014年7月30日

外務大臣

岸田文雄様

JAWW（日本女性監視機構）代表 田中 正子

国連NGO国内婦人委員会 委員長 江尻 美穂子

国際婦人年連絡会 世話人 山口 みつ子
實生 律子
紙谷 雅子

第59回国連婦人の地位委員会（CSW）日本政府代表団に NGO女性を加えることに関する要望書

私ども3団体は、共に女性の地位向上を目指して日々活動を続けております。

ここ数年は、外務省のご支援により、CSWにおいて国連代表部と後援または共催によりサイドイベントを開催し、好評を得ております。

日本政府は、北京会議の日本政府代表団にNGO女性3名参加させて以来、2000年特別会議、2005年の第49回CSW「北京+10」、2010年の第54回CSW「北京+15」に、私どもの要望に応じて、各3名のNGO女性を代表団顧問として参加させています。

2015年3月9日から20日まで開催の第59回CSWの優先課題は「北京行動綱領と第23回国連特別総会成果文書の実施に於ける評価およびレビュー」です。北京で開催された第4回世界女性会議以来、日本に於ける女性の地位向上のための施策は、男女共同参画基本法の制定、第3次に及ぶ『男女共同参画基本計画』の策定等により改善されているものの、他の先進国に比し未だしであり、第59回CSWはまさにそれが問われる場です。

日本政府が、世界各国と歩調をあわせ、国連での活動で成果をあげるためには、政府代表団とNGOとの密接な協力体制が必要不可欠です。北京会議以降、CSWの政府代表団にNGO女性を顧問として参加させていることを、私どもは高く評価しております。

第59回CSWが5年ごとの節目の会合であることに鑑み、2000年特別会議、「北京+10」、「北京+15」に各3名のNGO女性を政府代表団に加えられたように、今回も3名のNGO女性の政府代表団への参加を要望いたします。

以上